

其他	一〇	二	四	五	九	二〇	二一	六	二五
合計	五六	六九	五九	三二	五九	八四	五八	三九	三六九
									総計 二六三

十万突破特別委員会一覽表

山本 達夫	石橋 登良次	福 盛徳一
加藤 亨	増本 重三郎	矢田 秀義
川田 岩雄	高野 信三	宿 家
宗行 魚白	江南 徳三	村 尾重雄
宗丁 和	千代和 一十	栗原 宗三郎
高郷 求	上田 清次郎	正木 清
下田 梅三郎	山本 助太郎	浜田 徳藏
八木 正法	武智 勇	中川 豊吉
藤生 旭	春海 静一郎	猪瀬 清三郎
黄万 秀	霞 步	
竹本 良社	石田 正志	

教育出版部

教育出版部は組合が階級的使命遂行の上で組合員を以て明確なる意識を保持しむるための最重要なる機関であるが故に機会ある毎日日水を遡ることなく絶へず実行した。大坂聯合会の労働学校には各支部斗士を選擇して推選せるも不幸一時中止せざるに至つてある。組合自身としては研究会某茶話会各種集會を本部各支部・班に於て開催し専断手には労働講座を設けて毎回数時間に渉る教育を行つてある。其教育方針としては

總同盟主義の徹底、十万突破運動のため、時事問題の解説、労働組合のいろは、等の具體的なる問題をして組合員の意識の高揚とプロレタリア的批評眼を養はるために努力するもの、更に出版部と共に共産方針を覆りない。現在出版部としては個断なく必要に應じてそのアシビラ傳單の複製三〇六種、組合本部ニテ大毎定期に各支部三十五個一週定期に発行、其他未組織と稱するアシビラ八種約六万枚、労働歌集の複製、パンフレットの取次論等を行つてある。現在共産党の時に此と必要に應じて各支部も本部も行つてゐると言つた感がある。故に各々